

1

はちのへ商工ニュース[八戸商工会議所会報]

HACHINOHE 商工

News



2P	八戸商工会議所 会頭 新年のご挨拶	19P	八戸商工会議所青年部
3P	日本商工会議所 会頭 新年のご挨拶	20P - 21P	YEG DASH vol.09
4P - 7P	ヴァンラーレ八戸特集	20P - 21P	インフォ&レポート
8P	地震に関する緊急要望・支援情報	22P	インフォ&レポート
9P - 11P	新春誌上名刺交換(年賀名刺広告)	23P	& QRヨミモノナビ
12P - 13P	要望回答		月間スケジュール
14P - 18P	新春誌上名刺交換(年賀名刺広告)		



表紙 / インタビュー

株式会社 ヴァンラーレ八戸

代表取締役社長

下平 賢吾 さん

年頭所感

変革と価値共創による 日本経済の再出発

日本商工会議所
会頭 小林 健



明けましておめでとうございます。2026年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

成長の果実を賃金や投資へ

さて、昨年の世界情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化といった地政学リスクに加え、関税・輸出管理・産業補助・投資審査などが複合的に作用し、通商環境の再編が進行するなど、不確実性が一段と高まった一年でありました。

国内に目を向けますと、日本経済は賃金と物価の好循環に向けた兆しが明確になりつつありますが、依然として物価上昇に賃金が追いつかず、実質賃金の着実な回復が最大の課題です。長年にわたり染み付いたデフレマインドを払拭し、成長の果実を賃金や投資へ確実に循環させることこそ、日本経済の「再出発」に向けた最大の鍵であります。

こうした中、国政においては、憲政史上初の女性総理として高市総理が誕生し、就任直後からトランプ米大統領をはじめ各国首脳との会談を精力的に行い、首脳間の信頼醸成に努めてられました。

また、高市総理が議長を務める「日本成長戦略会議」におきましても、AI・半導体、造船・量子など17の戦略分野への投資に加え、人的資本の強化・労働市場改革、スタートアップ支援、賃上げ環境整備など、将来の

成長力を高める政策課題が明確に示されました。

国の成長戦略と歩調を合わせつつ、民間の現場から具体的な提言と実行を積み重ねていくことが、私どもの責務であります。

成長型経済への転換を確固たるものに「変革」と「価値共創」

わが国の経済は、成長型経済への移行に向けた正念場を迎えています。しかし、企業数の99.7%、雇用の約7割(3大都市圏を除く)と約9割を占める中小企業は、円安・原油高に伴う原材料・エネルギー価格などの高騰、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確固たるものとするためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これからの日本経済を支える基盤になると確信しています。

「変革と価値共創による日本経済の再出発」に向けた三つの重点課題

こうした考えから、私は今期のスローガンとして「変革と価値共創

による日本経済の再出発」を掲げました。このスローガンの下、以下の3点を重点課題として当所の運営に取り組んでまいります。

1点目は「成長型経済の実現に向けた環境整備」です。成長型経済を実現するには、コストプッシュ型インフレから、需要拡大によるデマンドプル型インフレへと転換し、賃金と投資の好循環を持続させる必要があります。そのためにも、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、賃上げ原資を確保する観点から官民を挙げて二層強化すべき課題です。加えて、経済安全保障とエネルギー安全保障の両立、過度な円安の是正に向けた金融政策、人手不足への対応、持続可能な全世代型社会保障制度の構築につきます。引き続き要望してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。

また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備

や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となって取り組まれることを心より期待いたします。

「現場主義・双方向主義」の発展

私は「原点は対話である」という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の生の声を伺い、各地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。

今後は「現場主義・双方向主義」をさらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多大なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

昨年の12月8日発生地震により、 被害を受けられた皆様へ、 心よりお見舞い申し上げます。

被災された皆様の安全と、一日も早い事業の復旧、そして地域の再生を役員一同、心よりお祈り申し上げます。皆様の事業再建に向け、微力ながらも支援させていただきますので、遠慮なくお申し付けください。

地域産業が 生み出す未来

Make an opportunity

サッカーで地域は変えられるのか

ヴァンラーレ八戸の挑戦

地域との関係を丁寧積み重ねてきた長い年月。その先にあったのが、J2昇格という新たなスタートでした。変わらない信念と、進化し続ける運営。ヴァンラーレ八戸が示す「地域密着クラブ」のあり方と、次のステージへの覚悟を下平賢吾代表取締役社長が語ります。

Data

株式会社 ヴァンラーレ八戸

創業：2006年クラブ創設、2014年に株式会社化
所在地：青森県八戸市南郷大字市野沢字市野沢35
事業内容：プロサッカークラブ運営

<https://vanraure.net>



J2昇格が開く地域の可能性

クラブのJ2昇格は、競技環境だけでなく、地域経済への広がりも期待されます。ホームゲームの最終戦では、入場者数の平均が約3400人まで増加。これまでの選手たちの奮闘に加え、フロントスタッフによる集客施策・地域と連携した取り組みの継続がJ2昇格への関心度を高めてくれたのだと思います。

そして、この観客数について、私は「過性のものではないと考えています。リーグカテゴリーが上がリ、クラブへの注目度が高まることで、これまで以上に八戸市民の来場にもつながっていくはず。さらにJ2昇格でアウェイサポーターの来場規模が大きく変わり、その存在が街に与える影響は非常に大きいと感じています。スタジアム内での飲食やグッズ購入にとどまらず、市内での宿泊、飲食、観光へと広がる消費行動。試合が土曜日のナイターに開催されれば、試合後に宿泊し、翌日に館鼻岸壁朝市や観光施設を訪れる流れも自然に生まれます。スポーツを起点とした交流人口の拡大は、地域経済にとって、単発ではない、持続的な波及効果をもたらすと考えています。

アウェイサポーターが運ぶ熱量

J3昇格とJ2昇格の違いは何か。その決定的な差こそ「アウェイサポーターの動員規模」だと、私は考えています。J3の平均観客数が約3700

人であるのに対し、J2は8800人を超える。この差は、単なる観客数の違いではありません。地域経済への影響はもちろん、子どもたちが高いレベルのサッカーに触れる環境づくりという点でも大きな意味を持ち、日常的に質の高い試合を目にするのと、そして質の高いチームが地元が存在することの認知にもつながっていきます。

2019年、ヴァンラーレ八戸がJリーグに初参入した際には、経済波及効果が約10億5000万円と試算されました。その後、クラブの規模や観客数は着実に成長し、現在は当時の数字をすでに上回っている可能性が高いと、私は見ています。J2昇格は、八戸の街をサッカーで染める出来事。『非日常』ではなく『日常』として訪れる現実、に、ぐっと近づけてくれました。

一方で、入場料収入についての課題も認識しています。JFL時代から続いた料金設定や、Jリーグ参入条件を満たすための招待施策…。有料観戦の文化を十分に育てきれなかった側面に反省もありませんが、それは次のステージへ進むために必要な過程でもあったと振り返りつつ、現在は「変えられるチャンスにある」と、前向きに捉えています。

変わらぬ軸と運営改革

環境が変化しても、クラブが守り続けてきた軸は揺らぎません。私たちが長年にわたり貫いてきたのは、「一生懸命、守備をする。全員で戦う」という姿勢

です。監督や選手が入れ替わっても、カテゴリーが変わっても、この考え方は変わらない。その精神がぶれた瞬間に、クラブは落ちていく。そこには、多くの経験に裏打ちされた私の確信があります。もちろん、J2においてもその方針は同じです。ただし、それと並行して、運営面の意識改革が求められています。スタジアムへのアクセスのしやすさ・来場者対応・全体のホスピタリティなど、J2のアウェイサポーターにも「また来たい」と思ってもらえる体験づくり、これまで以上に力を注がなければなりません。厳しい立地条件の中で、シャトルバスの運行や駐車場の確保など、物理的な課題も多いですが、それらと向き合うための意識改革は、すでにできていると考えています。

施設や地域の協力を得ながら、地域とともにつくるスタジアム運営。それもまた、ヴァンラーレ八戸らしさだと私は思います。競技、運営、地域連携、そのすべてを磨き上げながら、クラブは次のステージへ進んでいきます。



スクールトリップデー。
職業体験に挑む子供たち

JFL年間通算順位2位

Jリーグ理事会において三戸町、田子町、階上町、南部町、新郷村、おいらせ町が新たにホームタウンとして承認される

ホームスタジアムとして申請した「多賀地区多目的運動場」が2016年10月完成の見通しであり、2016年シーズンにおいて基準を満たすスタジアムが確保できないとして、J3クラブライセンス不交付となる

JFL参戦初年度 年間9位で終える

将来のJリーグ昇格を念頭に「株式会社ヴァンラーレ八戸」を設立

本拠地として登録した十和田市高森山総合運動公園球技場がJ3開催スペックのスタジアム基準を満たしていないため、J3クラブライセンス交付は見送られる

学びにつながる

スクールトリップデー

クラブの地域連携事業の中でも、特に特徴的な取り組みが「スクールトリップデー」です。学校で講演を行う中で、子どもたちの間でクラブの認知が十分に広がっていないことを実感したことから「我々の活動や試合を見てもらえる方法はないか」という問いが生まれました。そこで、試合観戦そのものを学習機会として位置づける構想を思いつめたのが、この取り組みの始まりです。

午前中は地元企業による職業体験、午後は試合観戦。一日を通して「学び」と「体験」を組み合わせた内容です。実施にあたっては、ホームタウン全域の教育委員会や学校関係者と丁寧な調整を重ねて

きました。平日昼間開催という前例の少ない形式でしたが、教育的意義への理解が広がり、多くの協力を得ることができました。

そして、この事業に欠かせないのが地域企業の存在です。多くの参加企業から「また子どもたちの笑顔を見たい」といった声が相次ぎ、翌年には参加希望企業が増加しました。地域密着の取り組みとして多くの意味を持つこの施策は、教育、産業、スポーツを結び、地域に新たな価値とつながりを生み出しています。今後もパートナー企業の皆さまにお力添えをいただきながら、継続していく予定です。地域全体で子どもたちの学びの場を支え、企業とスポーツをつなぐこのスクールトリップデーは、私たちが目指す地域共創の姿を体現しています。



Kengo Shimotai

代表取締役社長 下平 賢吾

1976年青森県八戸市(旧南郷村)生まれ。幼少期からサッカーを始め、光星学院高校(現・八戸学院光星高校)で全国大会へ出場。2006年からクラブ運営に携わり、事務局長、監督、専務取締役強化部長を経て、2020年に代表取締役社長に就任。2025年、J3最終戦において2位が確定し、J2への昇格が決定。



地域産業が 生み出す未来

Make an opportunity

2016

JFL年間通算順位7位

多賀多目的運動場が完成、ライセンス取得に必要なスタジアム要件がクリアできたことから9月20日にJ3ライセンスが初めて交付された

するライセンス審査結果においてJ3ライセンスを取得
リーグ理事会でJ3リーグへの入会が承認された

J3新規参入希望クラブに対するライセンス審査結果においてJ3ライセンスを取得

三沢市、七戸町、六戸町、東北町、野辺地町、横浜町、六ヶ所村の1市5町1村を新たにホームタウンに追加

2017



歓喜の瞬間、J2昇格を勝ち取った選手とサポーター

J2昇格の裏にある、 地域密着クラブとしての歩み

すべては地域の
子どもたちのために

遠かったJリーグ。その距離を縮めた原動力には、地域密着への強い信念と、地域と歩んだ時間がありました。ヴァンラーレ八戸は、最初からJリーグを目指して生まれたクラブではありません。原点にあったのは、地域の子どものための環境づくりです。当時のクラブチームは部活動の先生に依存していたことから、指導者や学校の事情に子どもたちの環境が左右されてきました。「このままでは、地域の競技力向上にはつながらない」。そんな思いから、育成を軸にした活動を開始。およそ3年間子ども達の運営に専念しました。

Jリーグを目指そう。

突如「Jリーグ」が私の目の前に現れたのは2008年のことです。株式会社ヴァンラーレ八戸の現会長・細越のひと声から始まりました。当時、Jリーグは私たちにとっては遠い世界で、クラブに関わる誰もが反対。私自身も「現実的ではない」と感じていました。そんな状況の中で私を変えたのは、他クラブの経営者からの強烈な問いでした。

サッカーは、何のためにあるのか。

地域を変えるためではないのか。

この問いが、クラブの進むべき方向を明確にしました。

地域に根を張り続ける覚悟

理想を掲げても、現実には動きません。スポンサーはなかなか集まらず、運営体制も十分とは言えない。結果も出ない。苦しい時間が続きました。中でも最もつらかったのは、「何も言われない」状

況。批判よりも、関心を持たれないことの重さです。

それでも、クラブは歩みを止めませんでした。地域に入り、顔の見える関係を築くこと。派手なことではできなくても、一つひとつ積み重ねる。その姿勢を、長年変えずに続けてきました。大きな親会社を持たないクラブだからこそ、地域密着への想いは人一倍です。たくさんの活動を通じて、少しずつ認知を広げ、共感を生む。時間はかかっても、確実に支えてくれる人は増えていきました。その延長線上に、Jリーグ参入、そして今回のJ2昇格があります。しかし、J2昇格を現実とした今の私の中には、やはり、達成感よりも強い危機感です。昇格はゴールではなく、新たなスタート。競技の世界は厳しく、少し気を抜けばすぐに結果は出なくなる。その事実を、私は誰よりも理解しています。

「サッカーで地域は 変えられる」という信念

J2昇格は、決してクラブだけの力で成し遂げたものではありません。青森県三八上北全域を含む全16市町村をホームタウンとしてクラブを運営できていること、サッカーを通じて日々の仕事や生活が成り立っていること。そのすべてが、当たり前ではなく、多くの支援と協力の上に成り立っているのだと、私は改めて感じています。

地域と共に歩む姿勢は、これからも変わりません。いま、一緒に変えられるチャンスが来ていると強く感じています。スタジアムが人の集まる場所になり、ヴァンラーレ八戸が街の誇りとして語られる存在になる未来を信じて、私はこの街とともに歩み続けていきます。

2025

J3リーグ年間通算順位2位
J2ライセンス付判定結果においてJ2ライセンスが交付される

2026シーズンから
クラブ初となるJ2リーグへ参戦

2024

J3リーグ 11位

2022

J3リーグ 10位

2020

J3リーグ 15位
新型コロナウイルス感染拡大の影響で
リーグが6月末に延期となる。

2018

JFL年間通算順位3位
昨年に続きJ3新規参入希望クラブに対
昇格条件を満たしたため、11月20日、J

J3リーグ 7位

J3リーグ 13位

J3リーグ 10位

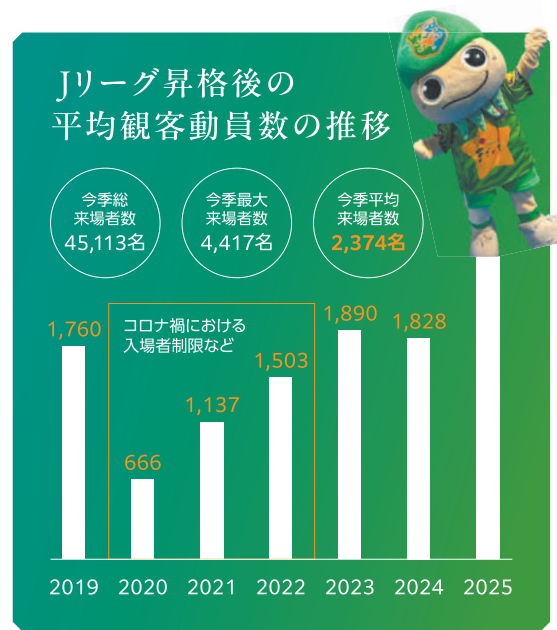
2023

2021

2019

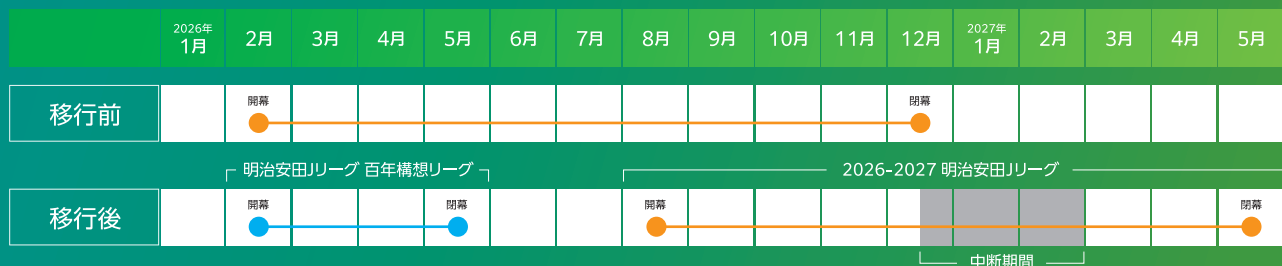


上：想いを掲げ、“全緑”で背中を押すサポーターたち
中：アウェイチームサポーターとの交流を重ねることも地域経済を持続的に成長させるファクターである
下：地域共生を大切にしてきたスタジアム運営。J2基準のスタジアム建設の課題も



2026-2027 明治安田 Jリーグ 年間スケジュール

これまでJリーグは、2月に開幕し12月にシーズンが終わるという日程で開催されてきましたが、2026年からは8月に開幕し6月に閉幕する秋春制に移行します。このため来シーズンは2026年8月に開幕し、冬場に約2カ月の中断期間を挟み2027年6月まで年をまたぐスケジュールに大きく変更となります。これにより今後は夏場のキャンプ地としての各クラブへの誘致といった新しいビジネスチャンスが考えられます。





2025年12月8日に起きた地震に関する支援について

八戸市へ緊急要望を行いました。

当所・武輪俊彦会頭と八戸港振興協会・澤藤孝之会長は、12月17日、熊谷雄一八戸市長を訪ね、「青森県東方沖地震への対応に関する緊急要望」を行いました。

武輪会頭は「まちの賑わいの火を消さないように積極的な取り組みをお願いしたい」、広瀬副会頭は「被災した設備の修繕等に対する補助制度などの支援をご検討いただきたい」、澤藤会長は「八戸港が一日も早く安全な作業ができるよう復旧をお願いしたい」と要望しました。

これに対し、熊谷市長は「国とも連携しながらしっかりと対応していきたい」とお話しいただきました。

要望の概要は次のとおり。

1. 被災事業所の早期再建に対する支援

建物・設備・商品等の早期復旧に資する補助制度の創設、事業の早期再建に資する金融及び税制支援

2. 産業インフラの早期復旧

道路、鉄道等の交通インフラの早期復旧、八戸港の機能回復

3. 経営安定化に向けた支援

休業による営業損失に対する支援、休業中の雇用維持に対する支援、飲食・小売・サービスの売上回復への支援と前向きな情報発信、観光・帰省等の自粛や風評被害を防止する積極的な情報発信

「令和7年青森県東方沖を震源とする地震に伴う災害」に関する支援情報

八戸市

事業者向けの被害届出証明書

八戸市では、災害などで“事業用の資産”に被害があったとき、その被害について届け出があったことを証明する「被害届出証明書」を発行しています。 ※災害ゴミ処分手数料の減免措置を受けるためにはこの証明書が必要です

【お問い合わせ先】八戸市 商工労働まちづくり部商工課 TEL:0178-43-9242

また、事業用であっても、以下に該当する場合は申請窓口が異なりますので、ご注意ください。

- 農産被害(ビニールハウス等)は、農業経営振興センター TEL:0178-27-9163
- 林産・畜産被害(畜舎等)は、農林畜産課 TEL:0178-43-9254
- 水産被害(漁船等)は、水産事務所 TEL:0178-33-2115



青森県・八戸市

青森県経営安定化サポート資金特別保証融資制度【災害枠】について

県では、経営安定化サポート資金の「災害枠」に「令和7年青森県東方沖を震源とする地震による災害」を指定し、同災害の影響により事業活動に支障が生じている県内中小企業者の資金繰りを支援しています。

また、県が50%、市が50%を補助することにより、八戸市内の中小企業者は信用保証料に係る費用負担なしで利用できます。

【制度についてのお問い合わせ先】青森県 経済産業部 経済産業政策課 中小企業金融グループ
TEL:017-734-9368 FAX:017-734-8106

【融資の相談・お申し込み先】青森県内・八戸市内に本支店を有する金融機関へ



日本政策金融公庫

災害復旧貸付について

地震、台風、豪雪や大規模な火災などの災害を受けた中小企業者の事業の復旧を促進し、被災地域の復興を支援します。

【お問い合わせ先】日本政策金融公庫八戸支店 TEL:0570-003753

はちのへ商工ニュース 2026年 新年特別企画

新春誌上
名刺交換

謹んで新春のお慶びを申し上げます

八戸商工会議所会報「はちのへ商工ニュース」をご愛読いただきありがとうございます。
会員の皆さまへ新春のご挨拶として、
新たなビジネス創造のきっかけづくりとしてお役立てください。

< 広告掲載ページ >

P9 / P10 / P11 / P14 / P15 / P16 / P17 / P18

代表社員

西川 弥生

八戸市小中野三丁目11-10

税理士法人恒輝

八戸経営会計事務所

理事長

益子 政士

八戸市大字八日町一八番地

青い森信用金庫

代表取締役会長

武輪 俊彦

八戸市鮫町下手代森32-1

武輪水産株式会社

執行役員 八戸支社長

浜谷 英幸

八戸市番町22-1
番町NDDビル3F

青森朝日放送株式会社八戸支社

代表取締役

類家 伸一

八戸市柏崎一丁目8-22
西町ビル1階・A

アールテック株式会社

代表取締役社長

中道 寿也

八戸市十三日町15
フラワーエイトビル3F

株式会社アート&コミュニティ

代表取締役社長

大久保 圭一郎

八戸市鷹匠小路18

株式会社金剛

代表取締役社長

広瀬 知明

八戸市城下一丁目3-12

株式会社テリー東北新聞社

青森県火災共済協同組合

理事長

小枝 昭

青森市新町二丁目8-26

アクサ生命保険株式会社
八戸営業所

所長

小石川 朋弘

八戸市堀端町2-13
八戸商工会館5階

WINN不動産
WINN経営コンサルタント

代表中小企業診断士 宅地建物取引士

北山 光廣

八戸市石堂三丁目6-3

エムエス工業株式会社

代表取締役社長

河村 元紀

八戸市桔梗野工業団地
二丁目8-15

小幡建設工業株式会社

代表取締役社長

小幡 千裕

八戸市城下四丁目22-33

株式会社青森みちのく銀行
八戸地区営業本部

取締役常務執行役員八戸地区営業本部長

松橋 義昭

八戸市堀端町3-1-1

株式会社味の海翁堂

代表取締役社長

槇 一郎

八戸市岬台四丁目1-1-1

株式会社上村保温

代表取締役

上村 克彦

八戸市妙字油久保6-1-1

eL・パワー株式会社

代表取締役

青野 正太郎

八戸市新井田字外久保7-54

株式会社力キザキ

代表取締役

柿崎 隆雄

八戸市江陽五丁目6-20

青森三菱電機機器販売株式会社
八戸支店

支店長

西村 靖史

八戸市卸センター
二丁目7-28

荒建材建設株式会社

代表取締役社長

荒屋 敷 拓人

八戸市大字櫛引字直渡13番地

エイコウコンサルタンツ株式会社

代表取締役

山内 一晃

八戸市長苗代下亀子谷地11-2

株式会社オートガード八戸

代表取締役

鶴飼 寿栄

八戸市日計一丁目4-20

カクイ貨物急送有限公司

代表取締役

近藤 武徳

八戸市江陽四丁目5-1-1

青森三八五流通株式会社

代表取締役社長

宮古 武

八戸市長苗代上中坪35-1-1

株式会社岩岡

代表取締役社長

岩岡 槇雄

八戸市卸センター二丁目7-13

株式会社HYテック

代表取締役社長

小田 良之

八戸市大字十日市字姥岩14

株式会社オタプリント

代表取締役社長

小田 正徳

八戸市北インテック工業団地
三丁目2-100

有限会社角田通信工業

代表取締役

山形 廣美

八戸市江陽五丁目6-16

赤間印刷工業株式会社

代表取締役社長

石藤 清悦

八戸市城下一丁目24-21

株式会社岩沢測量コンサル

代表取締役

岩澤 進

八戸市根城五丁目15-22

NTT東日本青森支店

ビジネスインベーション部八戸営業担当部長

鈴木 隆広

八戸市柏崎四丁目7-24

オトキタ酒販株式会社

代表取締役

音喜多 烈

八戸市沼館一丁目13-5

株式会社角弘 八戸支店

取締役八戸支店長

芦名 浩

八戸市卸センター二丁目9-28

合名会社菓子処 丸美屋

代表社員

若山 忠義

八戸市小中野八丁目8-35

有限会社柏崎清掃社

代表取締役会長

小林 一豊

八戸市是川字田中山24-23

有限会社柏崎清掃社

代表取締役社長

小林 勇氣

八戸市是川字田中山24-23

株式会社金入

代表取締役社長

金入 健雄

八戸市卸センター二丁目4-12

かねご製酪株式会社

代表取締役社長

中居林 達也

八戸市南類家一丁目1-3

有限会社カメラの和弘

代表取締役社長

大坊 直樹

八戸市湊高台二丁目13-39

川崎近海汽船株式会社八戸支社

八戸支社長

大坪 真二

八戸市河原木海岸25番地

株式会社河原木電業

代表取締役

河原木 琢也

八戸市江陽二丁目1-13

株式会社キク子商会

代表取締役

菊池 巖弘

八戸市長苗代化石76-4

北日本機械金属株式会社

代表取締役

小野寺 泰博

八戸市沼館四丁目7-37

北日本計装株式会社

代表取締役

桑原 隆則

八戸市城下一丁目18-3

北日本造船株式会社

代表取締役社長

根城 信吾

八戸市江陽三丁目-25

株式会社共同物流サービス

代表取締役会長

森山 慶一

八戸市卸センター二丁目13-1

株式会社京谷電気

代表取締役社長

高橋 誠

八戸市北白台二丁目8-23

銀波有限公司

代表取締役

城前 孝史

八戸市岩泉町7

宗教学法人榎引八幡宮

宮司

營田 稻太郎

八戸市八幡字八幡丁3-2

有限会社クリーニングルカ

代表取締役

平山 佳子

八戸市小中野二丁目9-15

興産商事株式会社

代表取締役

田村 浩久

八戸市小中野三丁目17-15

有限会社興産タクシ-

代表取締役社長

小笠原 修

八戸市旭ヶ丘三丁目1-5

高周波鑄造株式会社

取締役社長

定村 剛

八戸市沼館四丁目7-108

学校法人光星学院

理事長・学院長

法官 新一

八戸市美保野13-98

株式会社サカモトアクエア

代表取締役社長

坂本 俊也

八戸市小中野二丁目4-12

株式会社サン・コンピュータ

代表取締役社長

三浦 克之

八戸市北インター工業団地
一丁目5-10

株式会社サンデー

代表取締役社長

大南 淳二

八戸市根城六丁目22-10

山和機器産業株式会社

代表取締役

山内 元一

八戸市石堂三丁目9-17



昨年10月3日に八戸商工会議所から八戸市へ提出した

令和8年度 八戸市に対する要望事項



の事業者の事業承継を促進するためのマッチングに取り組んでみてはどうか」「不動産の相続登記が義務化されているが、空き家を処分しようとする方への支援があってもよいのでは」との意見が出された。地震の影響については、「津波や後発地震の注意報に対する対応を改めて検討いただきたい」「飲食店では地震の影響で忘年会のみならず新年会の予約キャンセルも発生し、その影響が長期化すると予想している」等の意見があがりました。熊谷市長は「震災の対応については、前向きに対応して参りますので、一緒になって取り組んで参りましょう」とお話しいただきました。

最後に、武輪会頭は「まずは地震以前の状態に復旧させることが優先となるが、今回の要望も踏まえて、本市経済発展のためご対応いただきたい」と述べ、閉会となりました。

令和8年度
回答書全文



最重点要望

1. 地元企業の経営課題解決に向けた支援の継続・強化
2. 中小企業の人手不足に伴う雇用対策の強化
3. 起業・創業に対する支援の強化
4. 事業承継に係る支援体制の構築と補助金の創設
5. 公共工事等の継続的確保並びに地元産業への優先発注の促進
6. 物品調達・役務の提供等における地元企業の積極的な活用
7. 八戸港活性化策の推進と国際拠点港湾への指定
8. 国道340号三日町・十三日町区間の早期再整備

重点要望

■ 中小企業振興・景気対策等

- ・ 地域経済の好循環実現に向けた販路拡大・海外展開支援の継続・強化
- ・ 「物流の2024年問題」への支援
- ・ 公共工事における働き方改革の推進
- ・ 中小企業のデジタル化・DXに対する支援
- ・ 八戸北インター第2工業団地の着実な整備促進と地元企業の優先活用
- ・ 八戸港水揚げ増加に向けた取組の推進

■ 都市基盤整備

- ・ 三陸沿岸道路の更なる整備・機能強化
- ・ 八戸港アクセス道路の開通に向けた整備計画の作成
- ・ 「八戸～青森間」における高規格道路網の整備・機能強化
- ・ 都市計画道路白銀市川環状線（3・3・8号）の全線早期完成
- ・ 都市計画道路沼館三日町線（3・5・1号）の早期完成
及び本八戸駅通線のコミュニティ道路の整

■ まちづくり・観光振興

- ・ 中心市街地活性化に係る支援
- ・ 中心市街地における歩行環境の整備促進
- ・ 観光振興に対する支援
- ・ 三陸復興国立公園の観光客受入環境の整備
- ・ 八戸三社大祭の運行に係る道路環境の整備

■ 社会課題等

- ・ SDGsに基づく海洋ごみ回収事業の継続
- ・ 空き家の利活用に資する対策の推進

当所要望に対する八戸市の回答

八戸商工会議所が提出した令和8年度要望書に対して八戸市から回答をいただきました。



12月19日、熊谷市長、佐々木・石田両副市長をはじめ、担当部長が来所され、熊谷市長から武輪会頭へ回答書が手渡されたほか、当所が令和8年度の要望として提出していた最重点要望8項目と重点要望18項目への回答についてご説明いただきました。

当所から最重点で要望した新規項目については、熊谷市長から説明がありました。熊谷市長は「事業継承に係る支援体制の構築と補助金の創設」について、「後継者の育成期間を考慮すると5～10年程度の準備期間が必要とされ、経営者の高齢化が進展する中、早期かつ計画的な事業承継を促進することが喫緊の課題である。情報発信や、関係機関との連携による事業承継ノウハウの構築等に積極的に携わることで、より幅広い事業者の現状を把握できると考えることから、支援体制の在り方について、ニーズや必要性を調査し、より効果的な体制を構築できるように努めたい」と回答しました。

また、「国道340号三日町・十三日町区間の早期再整備」については、「令和6年7月には、勉強会での意見や実証試験の結果を踏まえ、再整備の方向性を示す「八戸市中心街ストリートデザインビジョン」を策定したところ。今後も県との連携を一層緊密にしながら、令和8年度中を目途に、多様な関係者が歩み寄ることのできる「街路再整備方針」を策定することで、県による事業化へと着実に繋げたい」と述べる等、対策や支援の必要性について前向きな回答がありました。



最重点要望のうち継続で要望している内容や重点要望事項については、各担当部長から、これまでの実績や現在取り組んでいる施策等に触れ、八戸市の今後の取り組みについて説明がありました。

意見交換では、武輪会頭は「公共工事・物品調達には地元企業に発注いただいたほうが地域内の経済効果が高まるため引き続き優先発注をお願いしたい」と発言したほか、副会頭からは「廃業予定

島守経営労務事務所

代表

島守雅之

八戸市十八日町41-2

下沢食品株式会社

代表取締役

下沢宇寛

八戸市北白山台二丁目2-10

ジャパンフード株式会社

代表取締役社長

富田和昭

上北郡おいらせ町上久保
63-14

株式会社商工組合中央金庫
八戸支店

支店長

根岸寛

八戸市八日町43-1

株式会社庄司興業所

代表取締役

庄司肇

八戸市櫛引字井ヶ月1-44

シルバーフェリーサービス株式会社

代表取締役社長

五戸佳浩

八戸市大字河原木字海岸25番地

株式会社眞照堂

代表取締役

中村彰

八戸市城下三丁目10-20

株式会社新菱八戸工場

工場長

斉木徹信

八戸市江陽三丁目1-109

株式会社清掃センター

代表取締役

笹垣陽子

八戸市城下四丁目12-5

株式会社清掃テクノサービス

代表取締役

工藤義孝

八戸市城下四丁目12-5

株式会社創電工業

代表取締役

上野衆

八戸市大久保字小久保平19-7

第一清掃株式会社

代表取締役社長

榊純哉

八戸市是川金ヶ坂18

第一生命保険株式会社
青森支社八戸ブロック

八戸ブロック長

辻裏康宏

八戸市柏崎一丁目10-2
日進八戸ビル6F

太子食品工業株式会社
青森支店八戸営業所

代表取締役社長

工藤茂雄

八戸市下長三丁目20-3

大成建設株式会社 東北支店

青森営業所長

梨本嘉勝

青森営業所 青森市新町1-14 4階
八戸事務所 八戸市吹上五丁目7-94

大平洋金属株式会社

代表取締役社長

岩館一夫

八戸市河原木遠山新田5-2

有限会社大松

代表取締役

松井正文

八戸市六日町12

大洋石油株式会社

代表取締役会長

福島哲男

八戸市鮫町字住吉町13-4

株式会社高橋工務店

代表取締役

高橋勢治

八戸市小中野八丁目3-4

株式会社高橋製作所

代表取締役社長

田中大志

八戸市河原木浜名谷地76-344

株式会社建物管理技研

代表取締役

新田淳也

八戸市大久保字三社3-3

株式会社田名部組

代表取締役CEO

田名部智之

八戸市石堂二丁目11-21

多摩川ハイテック株式会社

代表取締役

坂下博康

南部町法師岡字仁右工門山
3-23

株式会社ツワン輸送

代表取締役

葛西亜貴夫

八戸市桔梗野工業団地
二丁目10-21

株式会社テクノ中央

代表取締役社長

寺沢学

八戸市新井田重地下51-12

株式会社テクノル

代表取締役社長

千葉哲也

八戸市廿三日町2
YSビル3F

寺下建設株式会社

代表取締役

寺下一之

八戸市長苗代上中坪36-1

東復建設株式会社

代表取締役社長

高木幹人

八戸市大字売市
字右水門下2-1

東邦開発土木株式会社

代表取締役

接待純一

八戸市吹上六丁目1-1

株式会社東北基礎調査

代表取締役

川島龍也

八戸市沢里上沢内86

東北グリーンターミナル株式会社

代表取締役社長

舘野和久

八戸市河原木字海岸24-4

東北産機システム株式会社

代表取締役

山下早苗

八戸市城下一丁目23-10

東北電力ネットワーク株式会社
八戸電力センター

所長

葛西史浩

八戸市堤町11-2

東北電力株式会社青森支店

八戸営業所長

堤幸治

青森市港町二丁目12-19

東北電力株式会社八戸火力発電所

所長

竹石雄

八戸市河原木字兵工河原1-1

東北容器工業株式会社

代表取締役社長

辻啓史

八戸市北インター工業団地
四丁目2-7

トヨタカローラ八戸株式会社

代表取締役社長

塚原安雅

八戸市小中野一丁目3-15

株式会社中長印刷

代表取締役社長

中村正明

八戸市城下四丁目24-23

有限会社中ペン塗装店

代表取締役

中村知行

八戸市小中野五丁目7-1

株式会社なかやま

代表取締役

中山かおる

八戸市沼館一丁目20-11

株式会社七洋

代表取締役

森清

八戸市新湊三丁目7-6

ナラサキスタックス株式会社
八戸支店

支店長

横山英幸

八戸市河原木海岸10-4

南部電機株式会社

代表取締役

大畑千恵子

八戸市沼館一丁目20-5

南部木材株式会社

代表取締役社長

工藤義隆

八戸市河原木海岸18-5

株式会社ニシキデザイン

代表取締役

吉田賢治

八戸市長苗代字前田11-1

株式会社西町

代表取締役

石橋伸之

八戸市柏崎一丁目8-22

日本インシユアランス株式会社

代表取締役

佐藤学

八戸市根城五丁目14-24

有限会社軒商会

代表取締役

軒寿子

八戸市小中野八丁目15-11

野村證券株式会社八戸支店

支店長

杉山友美

八戸市廿三日町28

株式会社ハイネット

代表取締役社長

三浦克之

八戸市城下四丁目12-13

株式会社橋文

常務取締役

千葉 敬司

八戸市卸センター一丁目9-1

畑中建設工業株式会社

代表取締役社長

畑中 武久

八戸市沼館四丁目6-6

八建工業株式会社

代表取締役会長

荒谷 正弘

八戸市北白山台二丁目1-32

八戸液化ガス株式会社

代表取締役社長

平野 薫

八戸市卸センター二丁目6-27

八戸ガス株式会社

代表取締役社長

木下 哲造

八戸市沼館三丁目6-48

八戸観光開発株式会社

代表取締役社長

正部家 淳司

階上町赤保内大渡21-27

協同組合八戸管工事協会

理事長

坂本 憲昭

八戸市北白山台2丁目6番地39号
(流通センター内)

八戸缶詰株式会社

代表取締役社長

野田 一夫

八戸市白銀町三島下92

八戸協和水産株式会社

代表取締役社長

野田 一夫

八戸市市川町字下揚45-13

学校法人八戸工業大学

理事長

武輪 俊彦

八戸市大字妙字大開88-1

八戸鉱山株式会社

代表取締役社長

藤津 二郎

八戸市松館長坂9-1

八戸公証役場

公証人

山家 史朗

八戸市廿三日町28

八戸港湾運送株式会社

代表取締役会長

澤藤 孝之

八戸市河原木海岸16-4

公益財団法人

八戸市総合健診センター

岡本 道孝

八戸市田向三丁目6-15

一般社団法人八戸自動車協会

会長

於本 正

八戸市沼館三丁目1-39

八戸酒造株式会社

代表取締役社長

駒井 庄三郎

八戸市大字湊町字本町9番地

八戸ショッピングセンター

代表取締役社長

工藤 潤

八戸市江陽二丁目14-1

八戸水産加工団地協同組合

代表理事(理事長)

野田 一夫

八戸市市川町字下揚49-12

八戸製錬株式会社八戸製錬所

代表取締役社長兼所長

八丁 和也

八戸市河原木浜名谷地76

八戸石材株式会社

代表取締役社長

接待 伯子

八戸市吹上六丁目1-1

八戸セメント株式会社

代表取締役社長

明代 知也

八戸市新井田字下鷹待場7-1

協同組合八戸総合卸センター

理事長

橋本 博文

八戸市卸センター一丁目12-10

公益財団法人

八戸地域高度技術振興センター

熊谷 雄一

八戸市北インター工業団地
一丁目4-43 P内

八戸中央青果株式会社

代表取締役会長

横町 芳隆

八戸市河原木神才7-4

八戸通運株式会社

代表取締役社長

角田 徹

八戸市城下一丁目1-9

八戸通運工業株式会社

代表取締役

種市輝雄

八戸市長苗代化石59-2

株式会社八戸鉄工所

代表取締役社長

田村嘉章

八戸市河原木字北沼15-7

八戸電気工業協同組合

理事長

河原木琢也

八戸市長根四丁目3-25

八戸燃料株式会社

代表取締役社長

小井田和哉

八戸市城下一丁目1-2

株式会社八戸パークホテル

代表取締役社長

泉山元

八戸市吹上一丁目15-90

株式会社八戸プラザホテル

代表取締役

神山智子

八戸市柏崎一丁目6-6

公益社団法人八戸法人会

会長

横町俊明

八戸市堀端町2-3
八戸商工会館6階

八戸リネンサプライ有限公司

代表取締役社長

石橋堅大

八戸市吹上五丁目1-37

八戸臨海開発株式会社

代表取締役社長

大久保浄

八戸市沼館四丁目7-112

協同組合八食センター

理事長

上平靖文

八戸市河原木字神才22-2

東日本タグボート株式会社

代表取締役社長

澤藤孝之

八戸市豊洲3-11

東日本旅客鉄道株式会社八戸駅

駅長

吉田正樹

八戸市尻内町字館田2-2

一般財団法人V・I・S・Tはちのへ

理事長

佐々木伸夫

八戸市一番町一丁目9-22

株式会社ビジネスサービス

八戸支店長

谷地諭司

八戸市糠塚字下道16

国立大学法人弘前大学

学長

福田眞作

弘前市文京町1

プライフーズ株式会社

代表取締役社長

本吉陽一

八戸市北白山台二丁目6-30

株式会社ブンメー

代表取締役社長

川村有紀江

八戸市沼館二丁目10-15

株式会社報恩八田

代表取締役

八田守立

八戸市十三日町21

有限会社ホーリーいろは薬局

代表取締役

河原史

八戸市新井田西二丁目7-14

株式会社北奥設備

代表取締役社長

北向秀幸

八戸市城下四丁目24-7

北辰工業株式会社

取締役会長

田島幹士

八戸市石堂四丁目15-8

北辰工業株式会社

代表取締役

田島理成

八戸市石堂四丁目15-8

株式会社ほくと

代表取締役

川村有紀江

八戸市北インター工業団地
三丁目2-80

株式会社前川製作所

八戸営業所長

首藤慶貴

八戸市湊高台三丁目2-3

有限会社間部板金工業

代表取締役

間部直人

八戸市根城三丁目15-4

有限会社マモル商運

代表取締役

守田 功

八戸市尻内町
字下毛合清水5-1

マルヨ水産株式会社

代表取締役社長

榊 佳弘

八戸市築港街一丁目1-4

みちのく興業株式会社

代表取締役社長

飯田 和雄

八戸市長苗代化石26-3

三井金属エンジニアリング株式会社
東北支店

支店長

茅森 剛

八戸市河原木浜名谷地76

株式会社ミッド八通

代表取締役

角田 徹

八戸市内丸一丁目1-45

三菱製紙株式会社八戸工場

工場長

石黒 秀明

八戸市河原木青森谷地

株式会社南山デイリーサービス

代表取締役

南山 泰政

八戸市小中野二丁目6-19

三八城税理士法人

代表社員

北山 輝夫

八戸市内丸一丁目1-47
北山ビル1F

三八五交通株式会社

代表取締役社長

小笠原 修

八戸市城下四丁目19-15

三八五バス株式会社

代表取締役社長

安達 清幸

八戸市江陽二丁目18-37

三八五フーズ株式会社

代表取締役社長

沖本 直人

八戸市長苗代字元木26-3

三八五流通株式会社

代表取締役社長

泉山 元

八戸市長苗代字上中坪35-1

学校法人明倫館

理事・校長

福井 武久

八戸市廿三日町11

桃川株式会社

代表取締役社長

上田 友司

八戸市十三日町1

八代産業株式会社

代表取締役

坂田 弘美

八戸市内丸一丁目6-4

山田設備機工株式会社

代表取締役社長

菊池 英信

八戸市大字是川
字権現堂向15-1

株式会社山村総本店

代表取締役

山村 和芳

八戸市売市四丁目11-9

株式会社ユニバース

代表取締役社長

三浦 建彦

八戸市長苗代字前田83-1

株式会社吉田産業

代表取締役社長

吉田 昌弘

八戸市廿三日町2

株式会社吉田システム

代表取締役社長

糸坪 昌春

八戸市北インター工業団地
一丁目3-64

株式会社ライケット

代表取締役

河村 泰輔

八戸市荒町22

有限会社らいず不動産らいずのお家

代表取締役

坂田 弘美

八戸市沼館一丁目6-3

一般社団法人倫理研究所
青森県倫理法人会

会長

中村 公成

八戸市堀端町2-13
八戸商工会館6階

株式会社類家大学堂薬局

代表取締役

類家 徳久

八戸市三日町13大学堂ビル内

司法書士法人わかば法律事務所

代表司法書士

久保 隆明

八戸市内丸三丁目2-15

共にワクワクする 新時代へ。

委員会やいろんな事業に参加して、
活動の場を広げよう！
その先には、きっと素敵な仲間と
わくわくが待っています！



申し込みは
コチラから！



YEG会員募集中!

定例会開催報告

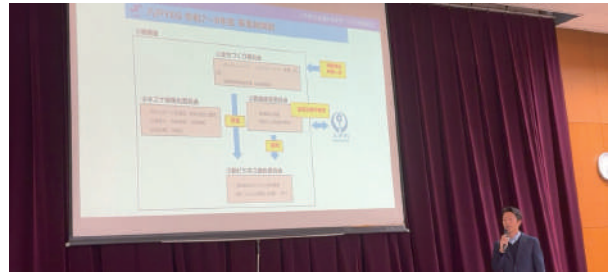
12月定例会開催



12月16日(火)、グランドサンピア八戸にて、キズナ活性化委員会担当による12月定例会を開催しました。勉強会では「人が集まる組織づくり」をテーマに、八戸学院野辺地西高等学校サッカー部監督の三上晃氏を講師に迎え、結果を成長につなげる考え方や、PDCAサイクルによる挑戦を恐れない組織づくりについて学びました。終了後の懇親会では、来賓や講師を交えた交流が行われ、今後のYEG活動につながる有意義な時間となりました。

合同委員会開催報告

11月合同委員会開催



11月19日(水)、商工会館にて合同委員会が開催されました。冒頭、岡本会長より本年度の活動を振り返り、YEG活動の意義や組織として目指す方向性が共有されました。各委員会からは、視察で得た知見や他単会の事例を踏まえた事業報告が行われました。インフォメーションタイムでは、「2025八戸クリスマスマーケット」の開催について説明がありました。会議後の懇親会では、会員同士の交流が深まり、今後の活動に向け結束を強める機会となりました。

全国リーダーズ研修会参加報告

全国リーダーズ研修会 愛知岡崎会議参加



11月28日(金)、愛知県岡崎市で開催された「第43回全国リーダーズ研修会 愛知岡崎大会」に参加しました。岡崎市は、徳川家康公生誕の地として知られています。「Create the Next—自ら、仲間から、地域から—」をテーマに、激動の時代に求められるリーダーの資質について学びました。特に、家康公の洞察力に基づく行動哲学が印象的でした。スタートアップ研修では、地域課題をビジネスに結びつける事例から、八戸にも応用可能な視点を得る機会となりました。

青森県連DAY開催報告

青森県連DAY in 八戸開催



12月6日(土)、青森県YEGの事業として「AOMORI県連DAY in 八戸」が開催されました。県内7単会のYEGメンバーが集い、学びと交流を深めました。午前は蕪島神社を参拝し、続いて八戸酒造を見学。八戸の歴史や地域に根ざしたものづくりの魅力を共有しました。午後は八戸商工会館にて合同委員会・役員会を開催。日本YEG事業では、日本商工会議所青年部 小野知一郎会長も来八し、「地域の永続的繁栄」をテーマに講話とグループワークが行われ、有意義な一日となりました。

Report

セミナー開催報告

外国人材活用セミナーを開催



12月18日、外国人材活用セミナー「中小企業の未来を拓く外国人材戦略」を開催し、約50名が参加しました。

講演では、国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部部長 是川夕氏を講師にお迎えし、「外国人材と地域社会の持続可能性」をテーマに日本の今後の人口動態と国際人口移動、2027年1月から施行される育成就労制度を中心にお話いただきました。パネルディスカッションでは「外国人材のリアルな声と採用企業側の本音」をテーマに(株)エコブリッジの中里社長、ぜんぎょれん八戸食品(株)の石川社長、実際に北日本造船(株)で働くアルフィアノさん、サハトさんがパネリストとして登壇。外国人材を採用する事業者からは外国人材の採用・定着にむけた施策や工夫・課題などを、また、実際に働いている外国人材からは仕事の内容や八戸での暮らしなど多方面にお話を伺いました。参加者からは「現場の声が聞けてとても参考になった」など実際に働いている外国人材から話を聞くことができたことへの満足の声が寄せられました。

Information

求人情報

自衛隊退職予定者の求人情報

多くの自衛隊員の定年は56歳と若いこともあり、自衛隊青森地方協力本部八戸地区援護センターでは、退職予定自衛隊員の再就職支援を実施しております。『八戸商工ニュース』では、今後も退職予定自衛隊員の情報提供を行って参りますので、会員企業の皆様の人材確保に、是非、ご活用下さい。



<制度の紹介>



<退職予定自衛官情報>

●お問い合わせ
防衛省 自衛隊青森地方協力本部 八戸地区援護センター
TEL.0178-28-3111 (内線 3385)

Information

適正取引講習会のお知らせ

無料の「適正取引講習会」を開催してみませんか？

中小企業庁では、原材料価格やエネルギーコスト、労務費の上昇分を中小企業・小規模事業者等が適正に価格転嫁できるように様々な取り組みを推進しており、その1つとして、無料の講習会「適正取引講習会」を通年で開催しております。経営環境が厳しさを増す中で、適正な取引環境を実現するための中小受託取引適正化法(下請法)の知識や、発注側企業との価格交渉のノウハウなど、基礎から実践まで学ぶことができます。

重要なポイントを学ぶリアル講習会やライブ配信講習と、より細かい内容まで網羅的に学ぶ収録配信講習など様々な受講スタイルを提供しております。

中小受託取引適正化法(下請法)講習会

令和7年5月16日に成立し、令和8年1月に施工させる法改正のポイントを重点的に説明するライブ配信型講習。
ビジネスシーンに精通した弁護士が解説、直接質問も可能。



価格交渉講習会

全国47都道府県でリアル講習会を開催！
基礎知識を学ぶ講座や、成功事例から実践的に学ぶ講座、様々な特別講座もご用意。



適正取引講習会 eラーニング

リアル講習会やオンライン講習会で扱いきれない細かい内容まで網羅的に講座展開。
好きなタイミングで、必要な情報にフォーカスして学ぶことが可能な収録配信講習。



●お問い合わせ
[下請法講習会] 適正取引講習会事務局 TEL.03-6820-0670
E-mail: tekitori.koushukai@epigram.tokyo
[価格交渉講習会] 価格交渉講習会事務局 TEL.03-6427-9165
E-mail: info@kakakukoushou.com

Report

常議員会・議員総会

第442回常議員会・第290回議員総会を開催

12月19日、第442回常議員会・第290回議員総会を開催し、顧問・相談役、参与の委嘱について審議・了承されました。また、組織運営委員会の設置に伴う委員会規約の一部改正並びに委員長・副委員長・委員の委嘱について説明がなされ承認されました。

報告事項としては、第31期部会役員選任結果や、令和8年度当所要望事項に対する八戸市からの回答について報告されました。この中で新規に要望した「事業承継に係る支援体制の構築と補助金の創設」、「国道340号三日町・十三日町区間の早期再整備」、「地域経済の好循環実現に向けた販路拡大・海外展開支援の継続・強化」、「八戸三社大祭の運行に係る道路環境の整備」等の他、継続要望についても、誠意、推進していく旨が報告されました。

その他、新たな取り組みとして「会員企業の製品・サービスPRタイム」を会議の中で設けていくことが説明されました。また、国スポ・障スポ八戸市開催へ向けた当所の対応として、告知物の制作や協賛品について説明されました。

新たに委嘱された相談役の方々は次の通り。

荒谷 徳安氏(前常議員) 寺沢 政男氏(前常議員)
田中 健二氏(前常議員) 吉田 誠夫氏(元副会頭)

Information

新入会員紹介

新入会員をご紹介します(令和7年9月5日~令和7年12月18日)

部会	事業所名	代表者名	業種
生活	大久保菜舗	大久保 和子	小売業(菜・たばこ)
食品	杉澤農園	杉澤 均和	種苗・長ネギ等の栽培・販売
食品	(株)藤田商店	藤田 和希	小売業(酒・食料品等)
理財	(有)クリスタルラボ	中野 辰彦	不動産賃貸業他
理財	(有)総合保険センター	小比類巻 大晃	保険代理店
工業	(同)TYエンジニアリング	四ツ役 達也	配管工・船舶修理業
建設	(株)アイ.テック青森支店	森 敏巳	一般鋼材の加工・軽量形鋼の製造販売他
観光	居酒屋 和華	上野 学	飲食業
観光	(同)Estrella	林 浩幸	ラーメン店経営
観光	(株)フードコミュニケーション	なぎさ なおこ	料理教室・カフェ・キッチンスタジオ他
観光	FromOne'sHeart(株)	高島 優	ホテルの所有・運営管理他
観光	PALE	高力 忠博	美容室
情報	(株)江陽ファーマシー	黒島 弘康	調剤薬局経営

(掲載同会の会員・情報のみ掲載/敬称略/原不同)

Report

八戸鉄工連合会労働災害防止対策協議会

年末年始無災害総決起大会を開催

12月8日、八戸商工会館において、八戸鉄工連合会労働災害防止対策協議会ほか鉄工関連4団体共催による年末年始無災害総決起大会が開催され、29名が参加しました。

大会では、八戸労働基準監督署の安全衛生課長より、最近の労働災害の発生状況について報告がありました。また、青森産業保健総合支援センター 産業保健相談員の加藤正貴氏より「騒音性難聴防止対策について」として職業性難聴や聴覚保護具の重要性等についてご講演いただきました。

最後に、中央労働災害防止協会および八戸鉄工連合会労働災害防止対策協議会の年末年始無災害運動標語の指差し呼称が行われ、参加者一同は年末年始の無災害に向けて士気を高め合いました。



Report

満点合格・あんざんコンクール 表彰式

【暗算検定1級満点合格】・
【2025年全国あんざんコンクール100位入賞者】表彰式

八戸珠算連盟は、12月2日に八戸商工会館で「暗算検定1級満点合格」、「2025年全国あんざんコンクール100位入賞者」の表彰式を開催しました。丸谷会長から賞状と楯が贈呈されました。入賞者は次の通りです。

【暗算検定1級満点合格】

滝澤直弥(惣門珠算ステップアップ教室)

【2025年全国あんざんコンクール100位入賞者】

小学校4年生の部= 97位:楨孝佳(ニコニコそろばん教室)

中学校3年生の部= 18位:山内勇和(ニコニコそろばん教室)

一般の部II = 16位:能登のり子(能登珠算塾)

19位:前田秀子(秀明珠算塾)

20位:木村祥啓(丸谷サポートスクール)

Information

八戸市役所情報



八戸西スマートICをご利用ください

八戸西スマートICは、県内初のETC専用のインターチェンジとして、平成31年3月23日に開通し、これまで、累計約171万台（令和7年3月31日現在）のご利用をいただいております。

国土交通省の調査によると、大型車では、八戸北インター工業団地や八戸総合卸センター、八戸第2臨海工業地帯などから八戸西スマートICを経由して南方面へ向かう利用も多くなります。

このスマートICを利用することにより、市街地の渋滞エリアの回避や大型車の冬期の八戸ICへの登坂を回避することができるなど、定時性の確保や安全性の向上につながっています。皆様、ぜひご利用ください。

八戸西スマートICを利用しよう!!

定時性の確保 安全性の向上 心理的負担

● 八戸西スマートインターチェンジ地区協議会
事務局：八戸市建設部道路建設課

Information

求職者情報

ハローワーク八戸より提供の求職者情報(抜粋)を掲載しています。

問合番号	希望職種	学歴	資格	経験年数	希望賃金(万円)
1	営業	大学	普、宅地建物取引士	営業員 約8年	25
2	看護師	専門	普(AT)、看護師	看護師 約2年	20
3	語学教師	大学	普、英検2級	語学教師 約10年	27
4	荷物配達員	高校	普、大型、牽引玉掛、小ク	配送業 約23年	30
5	化学製品製造オペレーター	高専	普、1級ボイラー-技士	製造オペレーター 約16年	20

※資格呼称は警視庁運転免許試験一覧および厚生労働省の技能講習一覧などに準拠しています。

リクエスト(求人情報提供依頼)の申込方法と注意点

掲載求職者への連絡については、当所から貴事業所の「求人票(写)」を郵送する方法となりますので、リクエストを希望する場合は、現在有効(公開)中の貴事業所の「求人番号」及び当求職者情報の「問合番号」の2つをお知らせ下さい。(求人票の提出なし・ハローワークの介在なしでの直接接洽・交渉は出来ない仕組みです)なお、ご覧の時点ですでに就職決定済や職業訓練受講開始などの理由によって、求人情報の提供が出来ない場合もありますので、あらかじめご了承下さい。また、求人票の有効期限が切れている場合や求人票未提出の場合は、先に求人票の提出が必要となりますので、まず求人受付窓口(求人企画部門)にご相談下さい。

お問い合わせ **ハローワーク八戸** 〒031-0071 八戸市沼館4丁目7-120
TEL.0178-22-8609
【当情報の問合担当】紹介第一部門(41番) 【求人募集受付担当】求人企画部門(31番)

QR YOMIMONO NAVI QRヨミモノナビ

経営に役立つコラムや調査データ、情報などを下記QRよりWEBサイト上でいつでも無料でご覧いただけます。

ディスカバリーコラム

2026年1月版

八戸商工会議所WEBサイト「ディスカバリーコラム」

経営に役立つ情報や発見が満載です。



商工会議所LOBO調査

2025年12月版

日本商工会議所LOBO調査公式WEBサイト

LOBO調査は全国各地商工会議所が参加する全国規模の早期景気観測調査です。



青い森しんきん Report

2025年11月版

八戸商工会議所WEBサイト「青い森しんきんReport」

八戸市の漁業・水産加工業、建設業、鉄鋼業、個人消費における最新動向をお伝えします。





当所および関連団体の

主なスケジュール

2025-2026

1.19^月-2.22^日

① 下記掲載情報は、さまざまな事由により変更、追加または中止になる場合があります。

1 月	19	情報・医療福祉部会／総会・研修会	2 火	3	八戸地区自衛隊協力会／ 防衛講話と新年の集い
1 月	19	観光サービス部会／総会・研修会	2 金	6	食品商業部会／総会・研修会
1 火	20	事業承継／定例個別相談会	2 日	8	珠算検定(統一試験)
1 月	26	理財部会／総会・研修会	2 月	9	新春会員交歓会
1 火	27	三八地区税務関係団体協議会／ 税務懇談会	2 火	10	青年部／役員会
1 水	28	第1回組織運営委員会	2 木	12	運輸交通部会／総会 工業部会との合同研修会
1 水	28	生活文化商業部会／総会・研修会	2 木	12	工業部会／総会 運輸交通部会との合同研修会
1 水	28	水産業部会／総会	2 火	17	事業承継／定例個別相談会
1 水	28	八戸鉄工連合会／新年会	2 火	17	日本公庫八戸中小友の会／新年定例会
1 木	29	建設業部会／総会・研修会	2 日	22	日商簿記検定 2級～3級(統一試験)

60歳を過ぎても
まだ働けるかしら…

ねえねえ!
私たちと一緒に
働かない?

働くヨロコビが
ここにある。

60歳からの 助だち人生

八戸市シルバー人材センター
☎0178-44-6448
八戸市類家4丁目3-1

事業承継、準備OK?

早めの相談がGood!

親族内
での
承継

従業員
への
承継

第三者
への
承継

さまざまな事業承継に対応します

【例えば、こんな **お悩み** ありませんか？】

例 1 親族に後継者がおらず、会社やお店の廃業または譲渡を考えている方

例 2 後継者のいない会社を引き受けて事業を拡大したい方

例 3 具体的にどのように承継すればよいかわからない方 など...



まずはお気軽にご相談ください!

相談無料 秘密厳守 青森県事業承継・引継ぎ支援センター

E-mail: hikitsugi@21aomori.or.jp | HP: <https://www.21aomori.or.jp/jigyuu-shoukei>

017-723-1040

詳しくはコチラから



譲渡 洋菓子工房 ノエル

譲受 株式会社 田村商事

令和7年7月事業譲渡

「継がせたい人」も

「継ぎたい人」も

「全力でサポート」します

■■ 八戸商工会議所 事業承継定例個別相談会 ■■

以下の日程で事業承継に関する相談会を開催します。

令和8年 2月17日, 3月17日

- ◆ 毎月第3火曜日、いずれも ①13:30, ②15:00(1案件あたり1時間程度)
- ◆ お申込は八戸商工会議所(0178-43-5111)

ウェブサイトで、
 実際に事業引継ぎをした
 経営者のエピソードを
 公開中!



事業承継・引継ぎポータルサイト
<https://shoukei.smrj.go.jp/>



八戸商工会議所
公式WEBサイト

〒031-8511 青森県八戸市堀端町 2-3 TEL 0178-43-5111 FAX 0178-46-2810


八戸商工会議所
 HACHINOHE CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY